

# 小須戸公民館報

春本番

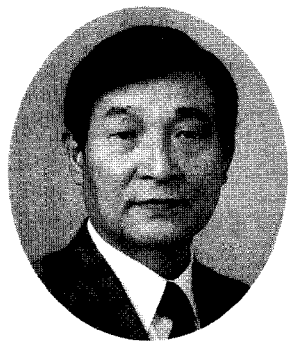
発行 小須戸町中央公民館  
〒956-0101  
新潟県中蒲原郡小須戸町  
大字小須戸117番地  
TEL (0250) 38-2234  
FAX (0250) 38-5210  
編集 公民館報編集委員会



## 2000年の公民館運営

# 明るい話題の発信源を目指して

中央公民館長 佐藤 貞夫



### ちよこつと一言 (145)

冬の庭は、殺風景。でも視点を変えれば、また楽しみ方がたくさんあります。この冬は、庭に新しい野鳥が仲間入りし、餌を食べて行きました。野鳥と言え、カラスと雀しか知らなかった私、でも庭に来る鳥をきっかけにバードウォッチングです。図鑑で、記憶したとおりの写真を見つけ

舟戸一

荏原富士子さん



「あつたー」と勇んで解説を読めば、九州以南に生息したか、「じゃーこれだ」と別のページを探せば、山林に生息する天然記念物だったり。まったく無知というのは、恐いもの知らずです。冬の間に、ガーデニングのカタログを広げ、構想を練ったり、再び失敗を繰り返さないために育て方を調べる楽しみもあります。雪国に住む私達の、春を迎える気持ちは特別です。

### 環境の整備

人は人によって人になります。人は人から学びます。公民館の人的環境整備の第一は、優れた指導者や講師をして支援者を確保することだと考えています。人材バンクとして、これまでも大勢の有志指導者や支援者の登録をいただいています。生涯学習を広く進めていくためにはもっともっと大勢の指導者・支援者が必要です。小グループの中で、みんなと一緒に楽しみ、ご自分の得意な分野で指導して下さる方を求めています。今、中央公民館の事務室では、教育委員会から社会教育主事も移ってきて、一緒に机を並べています。みなさんから気軽に足を運んでいただきたいという願いから考えたことです。最後に、明るい話題を二題お知らせします。うれしかったことです。

### 就任にあたって

阿達昭五中央公民館長の後を、昨年十月一日から引き継ぐことになりました。社会教育に積極的に参加をしてこなかった私は、公民館報を読んで勉強することから始めることにしました。昭和二十四年十月一日発行村山吉五郎館長の「公民館報こすど」第一号から、半世紀にわたって編集発行されてきた「小須戸公民館報」第五百四十三号までを通覧しました。地域社会の変化に対応し、町民の期待に応えてきた公民館の長い歴史と素晴らしい伝統の重さを感じています。公民館が社会教育の中心施設として、また、生涯学習の中核施設として、ますます重要さを増してきていることを自覚し、公民館活動に関係するすべての人と力を合わせ、一丸となって明るい話題の発信源を目指して努力します。

### 情報の発信と受信

三月十日、二十八年間の実績を持つ「小須戸園芸クラブ」が解散総会を開き、惜しまれながら幕を引きました。草創期には百六十余名だった会員が、高齢化に伴い、しだいにその数が減ってきたのです。ところが、三月十四日「交代田園芸クラブ」が、力強く

### 活動の充実

すでに、「情報こすど」第四十五号で五月から始まる講

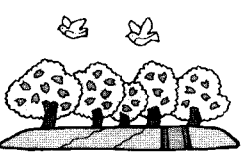
総会を開き、平成十二年度の事業計画が決まりました。小須戸町全体の園芸クラブは発展的に解散しましたが、それぞれの地区には、大きな火種が残っているのです。「守ることだけを考えてくる」ことは、どの組織にも当てはまることだと考えられます。時代の変遷とともに会の運営について検討し、硬直化から脱皮し、会員のニーズに応えようとしている園芸クラブの決断を明るい話題の発信と受け止めています。二月十七日、分館長および分館主事会議を開き、それぞれの分館から建設的な意見と提案をいただきました。その内容を集約すると「中央公民館とそれぞれの分館との連携をさらに強化しよう」と言うことになりました。

組織が大きくなり、活動が多様化するにつれ、情報の発信と受信は重要性を増してきます。情報の交換を疎かにすると誤解が生じたり、やる気をなくする原因にもなります。公民館運営審議会、生涯学習推進会議、館報編集、図書

の両委員会として各分館との情報の交換及び資料の提供に努めたいと考えています。

座と教室の案内をお届けしました。この中には、会員の強い要望と盛り上がりがあり継続することになった教室と講座があります。公民館が開設する教室や講座が、会員の自主的な運営ができるクラブに成長し、公民館利用団体になり、文化協会加盟団体に登録するまでに充実・発展することを期待して支援してまいります。現在、小須戸町文化協会加盟団体は五十一団体、七百名近い会員が活動しています。スポーツ少年団は九団体、その他のスポーツクラブや職場のサークルで活動している人達もたくさんいます。しかし、町民全体から見ると、生涯学習や生涯スポーツに参加している人達は決して多いとは言えません。そこで、生涯学習推進委員会を中心になって進めている『やろてば学習』に（この学習については、教育委員会から情報提供をしています）公民館は全力をあげて支援しようと考えています。また、平成十四年度から学校は週五日制になります。これは、家庭・地域二日制になることです。この二日制への支援を公民館は、具体的に始めなければなりません。公民館は、小須戸町レジャーマップの作成、方言集小須戸弁あれこれ等ふるさと再発

見の手伝いをしてきました。が、これからも、わが町に誇りを持つための話題を発信していきます。



### お目当ての 腹話術で大爆笑



### ほのぼのとした コンサートが 五十名の観衆を魅了



去る三月二十九日(水)に

「春休みアニメ映画会と腹話術体験の集い」を午前中は中央公民館、午後からはふれあい会館で行なったところ合わせて約百名の子も達が集まりました。

腹話術の演者には、新津市在住の朝日のはる(芸名)さんでした。

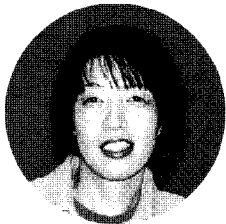
朝日さんは、腹話術の人形タケちゃんの目と口をパチクリさせながら本人の声と腹話術の声を表現豊かに使い分けるので、本当に血のかよったやんちゃな幼児の様でした。

最後に子ども達全員に紙コップを配り、各自で口がパクパク動く腹話術の人形を作って腹話術の簡単なやり方と発声練習を教えてもらいました。

去る三月三十一日(金)に、ほほえみ作業所において「なかよしコンサート」が、初の試みで行なわれました。

このコンサートは、松ヶ丘でピアノとエレクトーンの指導をされている東樹さんが、音楽療法を学んで、それを作業所の人の前で発表しました。

音楽療法とは、音楽を聞くことで人の心を楽しくしたり、おだやかにする効果があるそうです。



笠原弥恵子さん

### 大変お世話になりました

社会体育指導員 鷺津 誠也  
平成二年より十年一昔に亘ってお世話になりました。生涯スポーツの普及促進を主軸とした社会体育部門のお手伝いをさせていただきました。県下に名を馳せる「スポーツ町」だけに、私の力が及ぶ処ではありませんでした。我が身の無力を恥ながら、ご当地の益々の発展を祈り続けたいと思います。

公民館主事 五十嵐伸一  
三年間勤務させていただきました。この間、皆さんと一緒に楽しく仕事をさせて頂き、ありがとうございました。今度、住民課住民係に勤務することになりました。

公民館主事 知野 利和  
市民の皆様と仲良く楽しく公民館活動をやってゆきたいと思っております。微力ですが、がんばりますのでよろしくお願ひします。

## 掲示板

### ★健康ラジ体操のおさそい

ラジ体操、みんなの体操、ストレッチ等五月から十一月まで毎週日曜日に行ないます。子どもから大人までどなたでもご参加ください。

日時 五月三、四、五日の連休から毎週日曜日  
朝六時二十分開始  
朝六時三十分開始

場所 信濃川親水緑地公園  
雨天の場合中止です。

主催 ラジ体操普及の会  
問い合わせ 高山泰栄

(三三〇一四六八二)

### ★五月のおもしろ雑学講座

子どもさんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで「モノのみかた」を変えられる楽しい講演会です。

日時 五月十二日(金)  
午後七時三十分～九時

会場 中央公民館二階会議室

講師 蜘蛛野糸えもん氏  
(日本笑い学会々員)

### ★「折り紙サークル」会員募集

伝承・創作作品を一緒に折って見ませんか。とても気楽で明るいサークルです。興味のある方は是非見学にいらして下さい。

日時 毎週第一、三、五曜日  
午前九時四十五分から  
十一時四十五分

会場 中央公民館会議室  
講師 内山信子

会費 月千二百円+材料費  
申し込み・問い合わせ先  
内山信子(三三〇一七二八)

### ★初心者写真教室

月に一度、公民館に集まりカメラの基本的な操作技術を習得しながら、写真の楽しみ方を学びます。

なお年齢は問わず、未経験者を大歓迎いたします。

日時 毎月第四土曜日  
午後一時半～三時半

会場 中央公民館二階学習室

講師 渡辺靖氏(写真家)

会費 半年で二千五百円  
申込先 中央公民館

(三三〇一三三四)

### ★小須戸手話サークルWITH

手と手で行なうコミュニケーション。皆さんも一緒にやってみませんか。

日時 毎週木曜日  
午後七時三十分～九時

会場 きずなの家(小向)

会費 年会費あり  
問い合わせ先 中央公民館

(三三〇一三三四)

### ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆五月の相談日  
十二日(金)・十九日(金)  
二十六日(金)

◆受付時間  
午後一時～五時

◆電話番号  
三三〇一三三〇〇

◎お名前、言わないで下さい。  
◎秘密は、固く守ります。

## VOICE & VOICES

## 文芸欄

私は思う  
私は考える

寒の戻りの雨の日、私は公民館にでかけました。バイクは二十キロメートルから三十キロメートルの間に走っていました。

ある町内の道を横切り、間もなくのことです。急に目の前に車が出てきたので、(車庫から)私は、すぐハンドルを切りました。

運転手は、「こんなものがあるから悪いんだ」と云って風よけのバイクの前掛けを手に、一言云って走っていききました。(でもそんなことない……)

私は、近くの自転車店へ行き事情を話しバイクを持って行って見してもらいました。

あちこちを見てもらい、エンジンもかかるようになり、幸い自分の体もことなくて良かったと思いました。

しかし車庫を出るときは、左右を良く見定め、何かあったときは、大小にかかわらず一言、「どうでしたか?」「どこか痛めませんでしたか?」は、エチケットとして云うべきことではないかと私は感じました。

人を労る一言が  
人の気持ちを和ませる

紅梅

柳

俳

句

幼な子の書けるかな文字日脚伸ぶ 山崎しず枝

卒業生どつと受け入る青天上 東樹ちよ

浜離宮裏門賑わふ竹の秋 藤井ハルエ

春浅し味噌工場の白けむり 牧野信雄

寒鮒の戸板にはねて朝の市 高橋みどり

桐畑の二月の雨の暗さかな 坂井隆思

木の芽空ありぬ整形外科を出て 丸山虚秋

映像で見る菜の花の淡き昔に 田中美根子

深深と降る灯の外に雪の杉 吉田素糸

検温計衝へて春の鳥になる 中野太浪

街頭で歓迎されぬ募金箱 高橋ただし

願い事賽銭箱にはずむ音 増井都留

不景気で忘れられる貯金箱 保科一路

小さい愛胸の小箱にそつと秘め 渡辺信子

## シリーズ 「今、子どもたちは」(44)

### 六年生ありがとう週間

小須戸小学校

「六年生に楽しい思い出を作ってもらい、ありがとうの気持ちで贈ろう」と六送会実行委員会が計画を立てました。

【六年生と一緒に遊ぼう】

昼休みに学年毎に、六年生と鬼ごっこやボール運動を楽しみました。

【六年生からのメッセージ】

思い出を六年生一人ひとり人がビデオ録画し昼の放送で全校に放映しました。

【六送会】

学年毎に係を分担し、六年生とのお別れ会を楽しみました。

一年生はダンスを披露  
二年生は歌とプレゼント  
三年生は入退場のアーチ作



### 小須戸町ソフトテニス連盟 全国優良団体表彰受賞!!

三月十一日に、平成十一年度の優秀な成績を評価され、新潟県ソフトテニス連盟の御推薦により、中蒲支部が財団法人日本ソフトテニス連盟から、平成十一年度優良団体全国表彰を授賞いたしました。

中蒲支部には、小須戸、白根、田上の加盟団体があります。その中において、小須戸クラブの酒井亜希子さんが新

「六年生に楽しい思い出を作ってもらい、ありがとうの気持ちで贈ろう」と六送会実行委員会が計画を立てました。

